



はる パンフレット

社会福祉法人はる 法人紹介パンフレット



社会福祉法人はる 理念

私たちの願いは

障害のある人たちが

一人ひとりのかけがえのない人生の主人公として

生涯を通して幸せに暮らしてもらうことです

私たちは

障害のある人たちが

安心して いきいきとした生活を送ることが

できるために考え 行動します

私たちは

関わる人たちとのつながりを大切にし

信頼関係を築き 協力します

私たちは

障害のある人たちとの関りを通して

多くのことを学び

感謝と前向きな気持ちを忘れず

はるの願いの実現を目指します



はる公式HP内
理念の解説書

大切にしていること

「ご本人を大切にする」

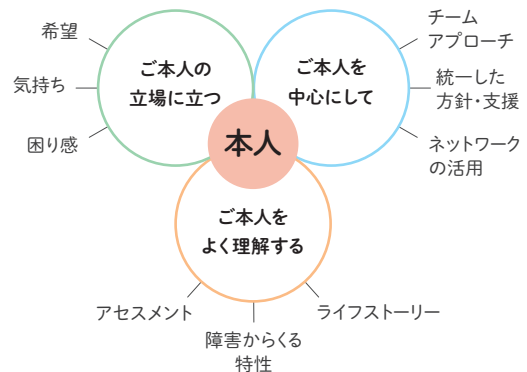
生活の豊かさや本人の可能性を大切に

「支援の視点」とは、

支援をする時に大切にしてほしい事であり、支援のキーワードです。

「ご本人を大切にする」

とは、ご本人の安全を守るという考えだけでなく、ご本人の生活の豊かさやご本人の可能性を大切にすることです。



「ご本人の立場に立つ」

そのためには、ご本人の「希望」や「気持ち」を大切にします。
ご本人の「困り感」を理解します。
そうすることで、ご本人のニーズに基づいた支援に近づきます。

「ご本人をよく理解する」

そのためには、しっかり「アセスメント」をとり、「障害からくる特性」を理解します。そして、その人の「ライフストーリー」を知ることです。
そうすることで、根拠に基づいた支援へとつながっていきます。

「ご本人を中心に」

そのためには、支援は「チームアプローチ」が基本と認識したうえで、スタッフ同士や関係者が「統一した方針で支援」をします。そして、いろいろな人たちとの「ネットワークを活用」することも、とても大切です。

社会福祉法人はる 沿革

- | | | |
|---------|------|--------------------------|
| 平成 14 年 | 4 月 | 福祉作業所ハル開設 |
| 平成 16 年 | 5 月 | 福祉作業所そら開設 |
| 平成 18 年 | 5 月 | NPO法人格を取得 |
| 平成 18 年 | 7 月 | 居宅介護事業所ライフサポートはる開設 |
| 平成 18 年 | 10 月 | グループホーム野いちご開設 |
| 平成 19 年 | 4 月 | グループホームはなはな・きらきら開設 |
| | | ショートステイはなはな開設 |
| 平成 20 年 | 4 月 | 就労継続支援B型ワークスペースかん 移転 |
| | | 就労移行支援事業所ジョブサポートそら 移転 |
| 平成 20 年 | 10 月 | グループホームあいあい開設 |
| | | ショートステイあいあい開設 |
| 平成 22 年 | 4 月 | 福祉有償運送開始 |
| 平成 24 年 | 4 月 | 本部・生活介護事業所ライフサポートはる移転 |
| 平成 24 年 | 4 月 | 放課後等デイサービス事業所じゃんぷ開設 |
| 平成 25 年 | 4 月 | 相談支援事業所ほっと開設 |
| 平成 27 年 | 4 月 | 厚生労働省「障害者の芸術活動支援モデル事業」受託 |
| | | SANC 開設 |
| 平成 28 年 | 7 月 | NPO法人から社会福祉法人へ移行 |
| 平成 29 年 | 10 月 | ライフサポートセンターはる開設 |
| | | 県内でも数少ない強度行動障害の生活支援を展開 |

理事長メッセージ

「はる」は2002年に佐賀市内にある一軒家から始まりました。当時は障害のある方たちが地域で暮らすための支援がほとんどなく、まずは自宅から通って楽しく活動ができる場所を作ることから始めました。それから、障害のある方たちが地域で安心して暮らし、いきいきと活動することができるように支援の幅を広げていきました。「はる」は障害のある人たちのことを大切に支えていきたいと思っています。その思いは、これまでもこれからも変わりません。



社会福祉法人 はる
理事長

福島 龍三郎

障害のある人たちは一人ひとりがいろいろな個性や可能性を持つステキな人たちです。しかし、生活や活動をしていくうえで、その人に合ったサポートや環境づくりが必要となることがあります。一人ひとりの個性や可能性を見つけて、その人に合った支援をしていく。それこそ障害福祉の仕事の魅力です。

障害のある人たちを大切に支えていくこと、自分の人生の主人公として輝いてもらうこと、豊かな人生を歩んでいただくことを、「はる」は目指していきたいと思っています。そのためには、私たち自身が、学んだり、いろいろな経験を積んでいくことが大切です。そして、障害のある人たちのために学んだことや経験したことは、スタッフの皆さんの人生の充実に必ずつながっていきます。

これからも「はる」は障害のある人たちとスタッフの皆さんを大切にしていきたいと思っています。

はるの事業一覧

はるは地域の一員として、多くの方々と協力し合いながら
ご本人のより良い暮らしを、みんなで共に目指していきます。

☐ 日中活動のサポート

生活介護事業所 **ライフサポートはる** [定員：20名]

☐ 就労訓練のサポート

就労継続支援B型事業所 **ワークスペースかん** [定員：20名]

☐ 居住のサポート

グループホーム **コンフォートながせ I・II** [定員：14名]

ショートステイ **コンフォートながせ I・II** [定員：16名]

グループホーム **はなはな・きらきら・あいあい** [定員：17名]

☐ ヘルパーでのサポート

居宅介護事業所 **ヘルパーステーションはる**

☐ 相談支援でのサポート

相談支援 **ほっと**

☐ アート活動のサポート

佐賀県障がい者芸術文化活動支援センター **SANC**

ライフステージ

老年期

65歳～

壮年期

成人期

青年期

18歳～65歳

学齢期

6歳～18歳

幼年期

0歳～6歳

生涯を通じた支援・安心

生涯を通した安心の縦軸と、
地域や人との関わりから得られる豊かさの横軸で、
障害のある方の暮らしを支えています。

必要な支援・福祉サービス

高齢者対応型グループホーム・共生型事業
権利擁護（成年後見制度・権利擁護事業）・相談支援 など

日中系事業（生活介護・A型・B型・就労移行・自立支援）

居住系事業（グループホーム／
重度対応・一人暮らし・二人暮らし）

ヘルプ（居宅介護、行動援護、同行援護、
重度訪問介護、移動支援、福祉有償運送）

ショートステイ

権利擁護（成年後見制度・権利擁護事業）・相談支援 など

放課後デイサービス

ヘルプ

ショートステイ

就業体験

相談支援 など

児童発達支援

相談支援 など

地域や人との関わり

自分らしい生活・人生

いのちの尊重

心身の健康

やりがいのある仕事・役割

好きなところへの外出

良好な人間関係

快適な住環境

十分な教育・療育

アート活動

社会や地域への貢献

ボランティア

イベント開催、参加 など

いろいろな人との関わりや経験・豊かさ

生活介護事業所 ライフサポートはる

健康的な活動

自分に合う活動

さまざまな経験ができる活動



対象

- 重度の自閉症や知的障害のある方々

サービス
内容

- 個別活動：それぞれの障害特性や状態に合わせた活動（自立課題、軽作業など）
- グループ活動：プール、ウォーキング、買物、納品・配達、バランスボール、イベント参加、カラオケ、ボウリング、一泊旅行 など

取り組み

- 「自分で」選択する、決めることの喜びを知れるように。
- 毎年、一泊旅行に出掛けています。利用者さんたちもとても楽しみにしています。

1日の
ながれ

- 9:00～ 送迎
バイタルチェック
- 10:00～ ウォーキング/プール
- 12:00～ 昼食
- 13:00～ ワーク/ドライブ/
アート活動
- 14:30～ 検温/おやつ/掃除
- 15:30～ 帰りの準備
- 16:00～ 送迎



いろんな画材を準備して、自由に描くアート活動



バランスボールを使った運動



みんなで楽しむそうめん流し



一泊旅行で利用者さんとスタッフが一緒に食事会

就労継続支援B型事業所 ワークスペース かん

自分に合う仕事
やりがいのある仕事



対象

- 中軽度の自閉症や知的障害、高次脳機能障害、精神障害のある方々

サービス 内容

- それぞれの障がい特性や状態に合わせた作業
- 役務：除草作業、剪定作業、グループホーム清掃作業
- 内職：自動車部品、健康食品、学校教材など
- 調理：麦茶販売、たこ焼き販売、コミュニティカフェの運営

取り組み

- 「しごと」を切り口にしながら、一人ひとりが充実
- できることや、時間・機会をつくること。
- それを叶えていくために「よく喋り、よく動く」スタッフたちです。



清掃のお仕事



内職のお仕事



グループに分れての忘年会



運動会にみんなで参加



バレー係留



室内清掃のお仕事

1日の
ながれ

- 9:00～ 送迎
バイタルチェック
- 10:00～ ウォーキング/プール
- 12:00～ 昼食
- 13:00～ 作業
休憩
- 14:30～ 作業
- 16:00～ 終礼

グループホーム コンフォートながせ I・II

ショートステイ コンフォートながせ I・II

安心できる生活
健康的な生活
豊かな生活

対象

- ながせ I：重度の自閉症や知的障害のある方々
- ながせ II：高齢化等による心身機能の低下が見られる自閉症や知的障害、身体障害のある方々

サービス内容

- 日常生活全般の支援健康管理、金銭管理活動の支援、家族や関係機関との連絡調整支援

特徴

入居される方々が安心して、落ち着いて暮らせる配慮を施された部屋となっています。
より良い暮らしのため、法人内外の多くの方々と連携して毎日を支えています。

1日のながれ

6:00～ 起床
朝食
8:00～ 日中事業所へ出発
16:00～ 入浴
17:45～ 夕食
就寝まで自由時間
20:00～ 就寝



グループホーム はなはな・きらきら・あいあい

1日のながれ

6:00～ 起床
朝食
8:00～ 日中事業所へ出発
16:00～ 入浴
17:45～ 夕食
就寝まで自由時間
20:00～ 就寝

対象

- 中・軽度の自閉症や知的障害、精神障害のある方々

サービス内容

- 日常生活全般の支援健康管理、金銭管理活動の支援、家族や関係機関との連絡調整支援

特徴

調理師さんが作る食事がとっても美味しいのが自慢です。
仕事から帰ってきて、ほっと一息つける、そんな場所です。



□ ヘルパーでのサポート

居宅介護 ヘルパーステーションはる

ご本人が望む余暇活動
一人ひとり
個別な方法でサポート

事業 内容

- 居宅介護、行動援護、同行援護、
重度訪問介護、移動支援、福祉有償運送

対 象

- 自閉症や知的障がい、
身体障がいのある児童から成人の方

サービス 内容

- 食事介助、入浴介助等の身体介護、
調理、掃除等の家事援助、外出、
余暇活動の同行・サポートなど



□ 相談支援でのサポート

相談支援 ほっと

安心して自分らしい生活
ご本人に寄り添った相談

対 象

- 自閉症や知的障害
身体障害のある児童から成人の方

サービス 内容

- 福祉サービス等の利用調整、
日常生活に関する相談援助
- 各サービス事業所や関係機関との
連絡調整など



相談支援員の1日の流れ

- 8:30~ 出勤
- 9:30~ 1件目の訪問面談
- 11:00 移動2件目の訪問モニタリング
- 12:00~ 昼食
- 13:30~ 3件目の訪問
- 15:00 事業所へ戻りデスクワーク
- 17:30 業務終了

1日の
ながれ

はるの中から生まれた雑貨ブランド

HARUIRO

はるのメンバーの手仕事から生まれた“さをり織り”をアレンジ。
世界で一つしかないオリジナルの雑貨です。

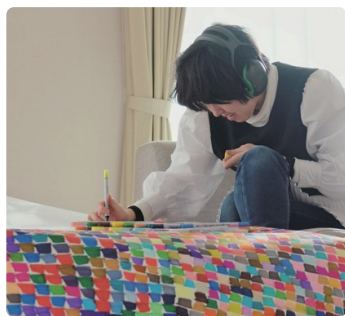


大石 幸之輔

毎日コツコツと“さをり織り”。スタッフも真似できないほどの一定のリズムで一本一本丁寧に織られています。

はるで活躍している

アーティスト



Fuco:

高校生の頃に描き始めて、クーピー、水彩ペン、鉛筆から刺繍へと変化が見えます。自身のブランド「マルツナガル」を設立し、企業やデザイナーと自らコラボ制作をしたアート靴下で、ショップでポップアップも開催。個人として、学校や事業所、自治体等とワークショップやコラボの機会も年々増え、アートを起点に彼女の世界はますます広がっています。

マルツナガル 公式

WEBサイト



Instagram



河島 晋作

3歳の頃に数字を教わって以来、30年以上数字を書き留めている河島さん。数字の数は徐々に大きくなっていきます。紙いっぱいに描いたり、余白を残したり。そしてある時、壁に飾ったり、床に並べたり。この様子が彼らしく、真剣な様子に見えてとてもほっこりします。周りに溶け込んで、ごく自然に創作しています。彼が集中できる環境を自然と整えていくこと。そうして出来上がる雰囲気の良いのです。

佐賀県障がい者芸術文化活動支援センター SANC



障害者の芸術活動をサポート その人らしい表現、支える人も一緒に

当法人は 2015年に「障害者芸術文化活動普及支援事業」の支援センターとしてSANCをオープンしました。

SANC は佐賀県において障害のある人の芸術文化活動の輪が広がっていくことを目指し、障害のある人の芸術文化活動のサポートを行っています。

対象

- 佐賀県内及び周辺地域の障害のある児童から成人の方、支援者

サポート 内容

- 相談対応
- 創作および発表機会の創出
- サポーターの育成
- ネットワークづくり
- 情報収集・発信 など

SANC が運営する Web サイト「ゆつつらアートねっと」では、佐賀県内の障害のある方のアート活動関連情報を発信しています。SANC の取り組みもご覧いただけます。



障害者芸術文化活動普及支援事業（厚生労働省所管）とは

障害のある人が芸術文化にふれ、楽しみ、深めることができる社会づくりを推進する中間支援事業です



創作体験ワークショップ



展覧会「がばいアーティストたち」



ステージイベント「スター発掘プロジェクト in 佐賀」

はるの中の SANC

支援センターとして培った経験や

ネットワークを活かして、

- ・アート活動のサポート
 - ・作品を活用したグッズ制作
 - ・アトリエでの創作活動
- などを行っています。



作品を活用したグッズ制作



生活介護はるのアート活動



機関紙「はるたより」のイラストコーナー

福利厚生・働きやすさ・研修

奨学金返済支援制度

働きながら奨学金を支払っている
若手スタッフを対象にした制度です。
入社から5年間、延べ60ヶ月の間
毎月1万円の手当が加算されます。

産休・育休制度

はるでは産休育休をとった
スタッフの職場復帰率100%！
安心して働ける環境があり、
また戻ってきたいと思える職場です。

資格手当

社会福祉士や精神保健福祉士、介護士や
保育士、看護師等の国家資格を取得した
方へ資格手当を支給します。
複数取得された方へは併給いたします。

支援時間に対する手当

GH支援手当／外出支援手当／年末年始手当
などなど、
さまざまな手当が支給されます。

OJT 新採サポーター制度

入社して3ヶ月間は、先輩スタッフがサポート。
支援でわからないことなど気軽に相談できる関係です。
もちろん、3ヶ月以降もいつでも
相談できる頼れる先輩です。

確定拠出年金制度 (DC) の導入

運用益が非課税、毎月の掛金が
所得控除になるなど税制優遇が得られます。
また、手数料の個人負担も0円とお得です。

“ご本人を中心に”を叶えていくために。

安心して働けるさまざまな制度があります。

eラーニング

Special Learningの動画コンテンツを
無料（法人が全額負担）で視聴することができます！
障がい福祉に関する講義を幅広く学ぶ
ことができるので、未経験の方も安心です。

こども手当

扶養されているお子さん一人につき
5000円の手当が支給されます。

外部研修の充実

スキルアップやマネジメントなどなど、
数多く開催されている中から
希望する研修を受講することができます。

未経験でも安心 充実した内部研修制度

年に2回の法人全体研修
年に4回の正職員研修を実施
支援の基本的な考え方をはじめとして
さまざまな内容を学んでいます。

短時間労働制度

育児や介護をはじめ、
スタッフの様々な希望に応じて
働く時間を調整することで、
就業の継続を可能にする制度です。

推し活を応援！ 休み希望は通ります

24時間365日を支えるために、
シフト制で支援を行なっています。
スタッフのリフレッシュが良い支援につながるので、
休みの希望は取得できます。

みんなでワイワイ 5人集まれば半額補助！

部活と称したこのシステム。
運動に飲み会に有効活用していただけます！



社会福祉法人 **はる**

Life Support HAL, Saga

- ☐ 社会福祉法人はる 本部
- ☐ グループホーム コンフォートながせ I・II
- ☐ 居宅介護事業所 ヘルパーステーション はる
- ☐ 相談支援 ほっと

〒849-0917 佐賀県佐賀市高木瀬町大字長瀬1168-1

☎: 0952-37-7078 / Fax: 0952-34-1024

✉: halhal@life-hal.jp

- ☐ 生活介護事業所 ライフサポートはる

〒849-0934 佐賀県佐賀市開成5-5-8

☎: 0952-37-1352 / Fax: 0952-34-1024

- ☐ 就労継続支援B型事業所 ワークスペースかん

〒840-0805 佐賀県佐賀市神野西4-4-11

☎: 0952-30-5250 / Fax: 0952-34-1024

- ☐ グループホーム はなはな・きらきら・あいあい

〒840-0806 佐賀県佐賀市神園6-7-13

☎: 0952-33-6222 / Fax: 0952-34-1024

- ☐ 佐賀県障害者芸術活動支援センター SANC

〒849-0934 佐賀県佐賀市開成4-5-4

☎: 080-2794-6195 / Fax: 0952-34-1024

佐賀 社会福祉法人 はる



はるの公式HPは、キーワード検索、
または下記のQRコードからご覧ください。



はる公式HP



表紙作品: 「しあわせピンク」 fuco:

裏表紙作品: 河島晋作